

事業実績書

1 事業名 遊びの中で防災スキルと非認知能力を身につける親子防災リーダープロジェクト

2 実施期間 令和7年4月18日～令和8年2月28日

3 事業内容

①事業の目的・概要

防災知識や災害発生時後に必要となるスキルについて、体験を通じて学んだ親子を増やし、災害発生時及び事後に、進んで他の人々や集団、地域の安全に役立てる人を育成し、災害に対応しやすい地域をつくること。

②事業の流れ等

以下の日程でワークショップを開催、2月を除いた同じ日程で参加者、一般希望者を対象にした「火や水、土を触って遊べる冒険遊び場プレーパーク」を開催した。

- 6月14日（土）防災のプロに学ぶ万一の備え
- 8月5日（火）流しそうめん台づくり
- 8月6日（水）塩づくり体験
- 9月27日（土）、28日（日）小屋づくりワークショップ
- 10月11日（土）竹の遊具づくり
- 12月13日（土）野外調理&消火器の使い方
- 1月24日（土）コンポストトイレづくり
- 2月14日（土）修了式&参加者交流会

ワークショップ、プレーパーク共に各回でアンケートを実施、防災意識の変化や学んだ技術、非認知能力を高める習慣形成の変化について確認した。

③成果・効果

6月から2月までで7回のワークショップ、6回のプレーパークの開催、1回の修了式・参加者交流会を開催した。すべてのワークショップと交流会の参加者は、大人67人、子ども92人、合計159人であった。プレーパーク参加者は、大人36人、子ども66人、合計102人であった。各回の参加者数は、以下の表をご参照ください。

親子防災リーダープロジェクト 参加者数					
番号	日程	内容	参加者		
			大人	子ども	スタッフ
1	6月12日	防災のプロに学ぶ万一の備え	6	14	5
		冒険遊び場プレーパーク	5	10	3
		合計	11	24	8
2	8月5日	流しそうめん台づくり	10	14	5
		冒険遊び場プレーパーク	4	12	3
		合計	14	26	8
3	8月6日	塩づくり体験ワークショップ	7	12	6
		冒険遊び場プレーパーク	4	6	3
		合計	11	18	9
4	9月27日	小屋づくりワークショップ	9	5	3
	9月28日	小屋づくりワークショップ	10	5	3
		合計	19	10	6
5	10月11日	竹の遊具づくり	9	14	7
		冒険遊び場プレーパーク	6	14	3
		合計	18	28	10
6	12月13日	野外調理&消火器の使い方	6	11	7
		冒険遊び場プレーパーク	8	12	3
		合計	14	23	10
7	1月24日	コンポストトイレづくり	7	11	7
		冒険遊び場プレーパーク	9	12	3
		合計	16	23	10
8	2月14日	修了式&交流会	3	6	7
		ワークショップ参加者合計	67	92	50
			大人子ども合計	159	
		プレーパーク参加者合計	36	66	18
			大人子ども合計	102	

・評価指標について

評価指標	評価方法	目標	中間	最終
1. プレーパーク参加者数	延べ人数	360人	24人	102人 (達成率28%)
2. ワークショップ参加者数	延べ人数	240人	63人	159人 (達成率66%)

プレーパーク参加者数、ワークショップ参加者数の見込みを高く設定しすぎた点、年間目標を達成することができなかったのは反省点となります。しかし、イベント開催が進むにつれて周知され、ワークショップ参加者、プレーパーク参加者も徐々に増え、後半になって参加者数が伸びていきました。

評価指標	評価方法	目標	件数
防災スキルの獲得段階、子どもの非認知能力育成に関わる生活習慣の変化、参加親子の防災意識の変化がわかる。	参加者アンケート、講座内での技術チェック	防災講座内での確認、プレーパークやワークショップ参加者から100件の回答を得る。	<ul style="list-style-type: none"> ・6月14日 4件 ・8月5日 5件 ・8月6日 6件 ・9月27・28日 8件 ・10月11日 7件 ・12月13日 6件 ・1月24日 7件

			ワークショップ合計43件 ・プレーパーク22件
--	--	--	----------------------------

アンケートの回答は、ワークショップで合計 43 件、プレーパークで 22 件で、こちらも目標に届くことができませんでした。

●親子防災リーダー講座アンケートについて

アンケート結果からは、年間通じて、子どもたちが楽しみながらワークショップに参加し、防災に関する意識の高まり、知識や技術を学んでいることが確認できました。そして、子どもたちが興味関心を持つ内容が具体的に分かったことも成果の1つと考えられます。

参加者の中には、自然の中の子ども同士の自由な遊びの価値、価値観を共有する家族同士の関わりの大切さを感じており、そういった環境を望む声も上がっていました。

また、回数を重ねることで、家族で習った内容を思い出し振り返る様子も見られました。最後の交流会では、子どもたちが主体となってお米を洗い、薪を用意して、羽釜でご飯を炊く様子が見られ、火を使って生活に役立つ技術が身につけられている確認をすることもできた。

ワークショップアンケートの共通項目について、「今日の内容はわかりやすかったですか?」、「お子さんは今日の講座を楽しんでいましたか?」、「今日の参加を通じて防災への気持は変わりましたか?」の回答結果を下の表にまとめています。

今日の内容はわかりやすかったですか? (N=43)		
1.とてもわかりやすかった: 33 (76.7%)		
2.わかりやすかった: 9 (20.9%)		
3.ふつう: 1 (2.3%)		
無回答: 0 (0.0%)		

・お子さんは今日の講座を楽しんでいましたか?	
1.とても楽しんでいた: 27 (62.8%)	
2.楽しんでいた: 11 (25.6%)	
3.あまり楽しんでいない: 1 (2.3%)	
4.大人のみ参加: 4 (9.3%)	

今日の参加を通じて、防災への気持ちは変わりましたか? (N=43)		
1.とても関心が高まった: 22 (51.2%)		
2.少し関心が高まった: 20 (46.5%)		
4.よくわからない: 1 (2.3%)		
無回答: 0 (0.0%)		

次に、各ワークショップの中で「やってよかった」と回答した内容についてまとめます。

「やってよかった」と回答した内容について	
項目	件数
親子や仲間と協力して作業できた	16
他の参加者との交流やつながりができた	15
木材や工具の使い方を学べた	8
小屋が形になっていく達成感を味わえた	7
コンポストトイレのしくみ（分解・発酵・におい対策）を学べた	7
海水を羽釜で焚く	6
消火器の使い方を実演で学べた	6
実際に消火器を使うことができた	6
火事の際の身の守り方を知れた	6
火の怖さと大切さを実感できた	6
竹で箸（はし）をつくる	5
竹で器（うつわ）をつくる	5
そうめん流しの台をつくる	5
塩分濃度を測って塩水を飲み比べる	5
災害時に役立つ火の起こし方を知れた	5
羽釜ご飯やBBQで実際に火を使うことができた	5

参加者が「やってよかった」と評価した内容は、親子・参加者同士で協力して作業できた点及び参加者間の交流・つながりが生まれた点が特に多く、講座の目的でもある共助の姿勢が高められていることが確認されました。

また、木材・工具の取扱い、小屋・竹工作、トイレ（コンポスト）、火（消火器・火の扱い）、水（塩づくり等）といった実践的活動が上位に挙がっており、インフラが停止した中で生活に直結する具体的な技術として受講者に受け止められていました。

以上より、本事業は体験型ワークショップを通じて、災害の備えや災害時の行動に資する学びの定着を図る取組として一定の成果を得たと考えられます。

●プレーパークアンケートについて

プレーパークアンケート（回答 22 件）では、参加者のリピーター比率が高く、自然環境の中で自由に遊べること、プレーリーダーの存在、火・水・工具等を用いた実体験が主な評価点として挙げられた。自然の中で遊べる場所の増加については全回答者が肯定し、参加経験者の一部では外遊び頻度の増加も示唆された。非認知能力の高さと「外遊びの時間」、「外で遊ぶ仲間の多さ」は、ポジティブな相関があることがわかっており、プレーパークをきっかけにして外遊びの時間が増えたことで、「自制心、達成力、協調性」など非認知能力形成にもつながる可能性が示唆されました。

④今後の課題・展開等

本事業の継続に当たっては、助成期間終了後を見据えた自主財源の確保と、活動の認知拡大・広報活動の強化が課題である。特に1年目は周知が十分に届かず、新規参加者の獲得が伸びにくかったため、2年目はSNS発信に加え、学習塾等との連携や子育て支援施設等を通じた案内により、幅広い参加層へ届く募集体制を整えていきます。

あわせて、地元企業への周知による協賛獲得、一般への情報発信による寄付者拡大を進めるとともに、流しそうめん台・竹遊具等の設置を収益化するなど収益事業を整備し、ワークショップは内容改善の上で助成終了後の有料開催も視野に入れ、自立運営の下準備を行なっていきます。さらに、実施ノウハウを整理したガイドブックを作成・配布（PDF化を含む）し、学びの定着と地域内への横展開を図ります。

⑤県民局との連携による効果

1月23日（金）にRSKラジオ、「いきいき備中ホット情報」に出演、コンポストトイレづくりワークショップの告知を行いました。ラジオを聞いた地域の方からお声がけいただいたこともあり事業の広報につながりました。

4 参考事項・資料

写真（データでも提出すること）

当日資料

アンケート結果 他

写真



防災のプロと学ぶ万一の備え



流しそうめん台づくり WS



海水からの塩づくり WS



ハザードマップを調べる参加者



ハザードマップを調べる参加者



海水を釜で炊く



塩と熱中症の関係



流しそうめん台の足を縛る

電動工具の使い方について説明



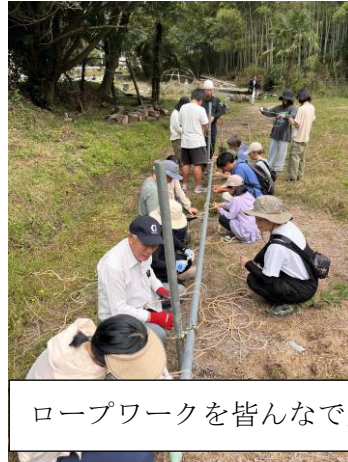
小屋の採寸について説明



竹の結び方を習う親子



ロープワークを皆んなで実習



消火器の使用体験



子ども同士で試行錯誤しながら焚き火を実施



コンポストトイレの仕組みを学ぶ



プレーパークで遊ぶ子どもたち



ワークショップ参加者アンケート まとめ

1. 調査概要

- ・対象：ワークショップ参加者（保護者・子ども）
- ・回答数：43 件
- ・実施方法：アンケート記入（オフライン）
- ・参加者の地域：倉敷市 26 人（60.5%）、岡山市 10 人（23.3%）、福山市：4 人（9.3%）、久米南町：1 人（2.3%）、広島県尾道市：1 人（2.3%）、宮崎県：1 人（2.3%）
- ・目的：参加者の満足度、防災意識の変化、学びの内容（技術・共助）の把握および次回改善に活用する。

2. アンケート結果（共通設問）

(1) 今日の内容はわかりやすかったですか？

- ・1. とてもわかりやすかった：33 件（76.7%）
- ・2. わかりやすかった：9 件（20.9%）
- ・3. ふつう：1 件（2.3%）

(2) 今日の参加を通じて、防災への気持ちは変わりましたか？

- ・1. とても関心が高まった：22 件（51.2%）
- ・2. 少し関心が高まった：20 件（46.5%）
- ・4. よくわからない：1 件（2.3%）

(3) お子さんは今日の講座を楽しんでいましたか？

- ・1. とても楽しんでいた：27 件（62.8%）
- ・2. 楽しんでいた：11 件（25.6%）
- ・3. あまり楽しんでいない：1 件（2.3%）
- ・大人のみ参加：4 件（9.3%）

3. 「やってよかった」内容（複数回答・上位）

※複数回答のため、割合ではなくチェック件数で整理

- ・親子や仲間と協力して作業できた：16 件
- ・他の参加者との交流やつながりができた：15 件
- ・木材や工具の使い方を学べた：8 件
- ・小屋が形になっていく達成感を味わえた：7 件
- ・コンポストトイレのしくみ（分解・発酵・におい対策）を学べた：7 件
- ・海水を羽釜で焚く：6 件
- ・消火器の使い方を実演で学べた：6 件
- ・実際に消火器を使うことができた：6 件
- ・火事の際の身の守り方を知れた：6 件
- ・火の怖さと大切さを実感できた：6 件
- ・竹で箸（はし）をつくる：5 件
- ・竹で器（うつわ）をつくる：5 件
- ・そうめん流しの台をつくる：5 件

- ・塩分濃度を測って塩水を飲み比べる：5件
- ・災害時に役立つ火の起こし方を知れた：5件
- ・羽釜ご飯やBBQで実際に火を使うことができた：5件
- ・災害時（断水、停電など）に役立つトイレの備えを具体的に考えられた：5件
- ・家族で避難場所を決めるワーク：4件
- ・非常持ち出し袋の中身チェック：4件

4. 自由記述（今後参加したい講座）について

- ・自由記述（今後参加したい防災講座）の記入：35件（43件中）

※内容は、火・水・食・トイレ等の「生活直結スキル」や、野外での実践、災害時行動の具体など、体験型への要望が中心となっていました。

5. まとめ

ワークショップアンケート（43件）では、「内容のわかりやすさ」「防災意識の高まり」がいずれも高い割合で確認されました。また、「やってよかった」項目では、協力作業や参加者交流が上位となり、実践を通じた共助の姿勢形成と、生活に直結する防災スキルの獲得が評価されていました。

以下、「4.自由記述」の内容を列記します。

1. 実際に体験するのは子どもも楽しんでました。リュックの中身も具体的でよかったです。次回、野外でやりたいです。
2. 助ける方にはどのように見えているか？とか
3. (a)自宅で被災したときの心構え／(b)頭を守るなどのとっさの行動について／(c)外出時の行動（土地勘のない場での判断）。ホイッスル、初めて吹きました。体験（実験）もでき勉強になりました。ありがとうございました。
4. 子どもはノコギリで竹を切ったり、作ったり、流しそうめんをするのがはじめてでした。とても勉強になったし、楽しめました？（保護者）最初竹でそうめんの器をつくるのがむずかしかったです。楽しかったし、おいしかった！！??
5. 飲み水の作り方、火のおこし方とか？
6. 参加したい講座：綺麗な水のつくり方。感想：竹の器づくりから体験でき、子どもにとって貴重な体験になりました。流しそうめんではトマトやブドウも流れてきたのが面白かったです。
7. 普段ノコギリなど使うことがないので、経験することができて良かったです。そうめん流しも子どもは初めてだったので、とても楽しそうでした。ありがとうございました。
8. 興味があるもの：(a)火を使わない料理／(b)カセットコンロを使った料理／(c)アウトドアに学ぶ防災。実験や工作が大好きな娘です。塩をつくるのが楽しみで熱い中羽釜で焚いたと言っています。次女は、さくらちゃん（スコレーの犬）と遊ぶから塩はつくらないと言いずっと楽しく過ごしていた。ありがとうございました。
9. 火をつけるところからできて、子どももとても楽しそうでした。子どもは塩の

作り方を知らなかったなので、良い経験ができました。暑かったけど、楽しかったです。

10. 自分で塩をつくれると思っていなかったなので、とても良い経験になりました。塩水の飲み比べで、塩分濃度のちがいが良く分かって面白かったです。
11. たべられる草とたべられないものの見分け方講座
12. 防災とは関係がないかもしれないのですが、中1の娘がディスカバリーチャンネル（何も持たずに島とかに行き、そこにあるもので生活する動画）が好きなので、「無人島にあるもので生活してみる体験型講座」とかに興味はありそうです。
13. 防災リュックに何をいれたらいいか学びたい。どうやって災害土砂崩れなど、どうやってなるか知りた。
14. ビス打ちが楽しかったです（子ども）。普段工具を使う機会がないので、貴重な体験ができました。いろんな年齢の子どもたちと楽しく協力しながらできたので、よかったです。
15. 今後、南海トラフなど大地震が起こると言われている。起こった時に、自分や家族の命を自分たちで守れるような持ち物に関する防災講座があったら参加したいです。自分たちのすんでいる地域の歴史（地形的な）ハザードマップの読み取り方などを同じ場所に住む人たちと学ぶ講座など。自分たちでできることを実践したいと思います。ありがとうございました。
16. 小屋を自分たちで建てられる様になれば、出費が少なくて住むので、お金の為に働く時間も少なくて済むので、より自由に生きられると思いました。オッキーさんの被災地支援と農業と建築の仕事を全て両立させながら、自由に生きている生き方がとても楽しそうで参考になりました。
17. インフラが崩壊した時に必要となるサバイバル技術ワークショップ
18. 野外調理などの防災講座があれば参加したいです。実際にインパクトやタッカーを使えたのも楽しかったけれど、見ているだけでも楽しかった（さき）。直角を出したり、細かいポイントで完成品の精度が上がるのを実感できた。同じことをするのは難しいなと思ったけれど、すべてがとても勉強になりました。おもしろかったです！
19. 参加したいです。次もこの様な防災講座があればどんどん挑戦したいです。大工工事や災害後の復興について、必要なことが体験できると良いかなと思います。
20. すぐに脱落してすみませんでした。ロープワークとても勉強になる&楽しかったです。プレーパークもあったので、子どもも最後まで楽しめました。ありがとうございました。
21. 野外遊び、キャンプ、火の使い方。いつも楽しく学ばせてもらってます。たけがとてもおもしろかったです。
22. ロープの結び方がとても勉強になりました。生活の中で使っていきたいなと思います。チェーンソーがたのしかったようです（子ども）。災害時の調理・水の確保など体験してみたいです。
23. 津波がきて溺れないイカダとか、家のつくり方（娘が言いました）。とても貴

重な経験をさせていただきました。娘のたくましい姿が見れてうれしかったです。防災食について知りたいです。

24. 食や心構え（体験者の話）
25. 電気、ガス、水道がとまったとき、どうやって1日すごすか（防災講座）。感想：自然の中で竹を使って遊具をつくるという作業は、とても楽しかったです。子どもも友達と自然に仲良くなって、虫とりができて、楽しそうでした。また参加したいです。ありがとうございました。
26. (a)起震車で、地震の体験（実際に体験した時に良い機会だったので）／(b)消火器は、家庭ではあまりおすすめしないというのがびっくりしました。消火スプレーの置く場所もアドバイスいただけてよかったです。
27. 火の楽しさ、怖さ、色々な事を実際に体験しながら知ることができとてもありがたかったです。羽釜ご飯もBBQもとても美味しく本当に素敵な時間になりました。子どもにナナメの関係もできたらいいな、と思っていたので、自分から話したりして色々な方と関わる姿も見られたのでそれも嬉しかったです。ありがとうございました。
28. 電気と水がないとき役立つもの、その使い方など。消火器を使う経験ができたことがすごくよかったです。また、消防士の方に火に関する様々な事を教えていただいていたためになりました。ありがとうございました。
29. 初めて消火器を使ってみて重さや勢いなど体験することができてよかったです。身を守るための行動も知ることができて、とても勉強になりました。猪肉初めていただきました、おいしかったです。
30. 最新の濾過浄水ストローなど試してみたいです。
31. コンポストトイレがどんなものか知らずに参加しましたが、仕組みやニオイ対策など、いろいろ知ることができて、とても良い学びとなりました。子どもがたのしく参加できて、子ども同士で協力する姿もみることができて、うれしく思いました。ありがとうございました。
32. コンポストトイレの仕組みについて、知ることができてよかったです。機会があれば、自分でもチャレンジしたいです。トイレのまわりの飾り付けをするのに、竹を切ったり、色を塗ったり、子どもたちが楽しそうにできているのが良かったです。ありがとうございました。
33. 自然の中で防災について学ぶ体験はなかなかできないので、良かったです。
34. 海水を水に戻す方法とか知りたいです。
35. 子どもはもう大きいのですが、また参加したいです。

プレーパーク参加者アンケート まとめ

1. 調査概要

- 対象：プレーパーク参加者（保護者・子ども）
- 回答数：22件
- 実施方法：アンケート記入
- 目的：参加者の満足度、利用実態、今後の改善点を把握し、継続的な運営や発展につなげる

2. 参加者属性

居住地域

- 岡山市：11件（50.0%）
- 倉敷市：8件（36.4%）
- 福山市：3件（13.6%）

3. アンケート結果

(1) 参加経験

- よく参加している：11件（50.0%）
- 今日が初めて：5件（22.7%）
- これまでに何度か参加：6件（27.3%）

(2) 良いと思うところ（複数回答）

項目	チェック件数	参考：回答者比（22人中）
自然がある	21	95.50%
自由に遊べる	20	90.90%
プレーリーダーがいる	17	77.30%
火や水を使える	20	90.90%
工具や遊び道具がある	19	86.40%
その他	6	27.30%

その他には、以下のような意見があった。（べっこうあめづくり、自由があり安心もある、自分で考えて作ることもできる、いろいろな子がいる、感覚の近い家庭の方が多い、いろいろな年代の子どもがいる）

(3) 生活習慣に関する質問

スクリーンタイム（1日）

- 1時間くらい：7件（31.8%）
- ほとんどしない：4件（18.2%）
- 30分以内：4件（18.2%）
- 3時間以上：4件（18.2%）
- 2時間くらい：3件（13.6%）

外遊び頻度

- ほぼ毎日：10件（45.5%）
- 週に3～4日：7件（31.8%）
- 週に1～2日：5件（22.7%）

(4) 友達との関わり

- 1～2人いる：9件（40.9%）
- 3人以上いる：7件（31.8%）
- あまりいない：6件（27.3%）

(5) プレーパークの効果

- 自然の中で遊べる場所がもっと増えたら良いと思う：22件中22件（100%）が「とても思う」

（参加経験者向け設問）参加して外遊びの頻度が変わったか

- 外遊びの回数が増えた：13件（59.1%）
- 変わらない：4件（18.2%）
- 無回答：5件（22.7%）

4. 自由記述から見える声

自由記述は16/22件で記入あり。継続希望・謝意・プレーリーダー増員希望、火を自由に使える環境への期待、べっこう飴づくり等の体験がみられました。

【自由記述（14件）】

1. いつもありがとうございます。引き続きよろしくお願いします。
2. これからも長く続けて行ってほしい。プレーリーダーがもっと増えるといいなと思います。
3. ベっこうあめづくり、ずっと気になって増田。今日初めて娘が作らして（一緒に作って）もらい、約2時間ずっと作ったり食べたりしていました。みなさん温かく、場も人も素晴らしくまだまだここにいたい様子でした。ありがとうございました。
4. ベっこうあめ作りは、何度しても楽しいようです。工作も大好きなので、すべり台作り（ぶらんこ）たのしかったと話しています。
5. たのしく異年齢の友たちと遊べてよかったです。ぜひまた参加したいです。スコレーにも定期的に来てください。
6. 今日自然の中で楽しく遊べて楽しかったです。
7. 野生の生き方を教えてほしい。火おこしの方法、ドカンで温泉作りとか
8. 自由に伸び伸び遊べて子どもも楽しそうでした。
9. 0歳からプレーパークに参加しています。来年度もスコレーでのプレーパークがあると嬉しいです。
10. 来年度もスコレーでプレーパークをしてほしいです。
11. 次年度もこのようなプレーパーク in スコレーをしてほしいです。
12. 自然の中で自由に遊べる機会は本当に貴重なな、大切にしたいなと思っているので、これからもよろしくお願いします。
13. 火が自由に使えるととても良いなと思いました。べっこうあめおいしかったみたいです。自分で作れたということも自信になっていました。
14. 自然の中で自由に遊べる場は子供にとって必要だと思うので、参加できてよかったです。

5. まとめと今後の展望

- 評価：自然環境の中で自由に遊べること、プレーリーダーの見守り、火・水・工具等を用いた実体験が支持されており、参加者の外遊び習慣や子どもの体験機会の充実に寄与していると考えられます。
- 展望：初参加層の取り込みを継続しつつ、リピーター化を促す運営（周知・参加後フォロー・担い手確保）を進め、地域の協力も得ながら「持続可能なプレーパーク運営モデル」を構築する必要があると考えます。